

PHONETIC

提供: ExcelPedia

概要

文字列のふりがな情報の文字列を取り出します。

書式

PHONETIC(文字列)

各引数の説明

文字列

ふりがな情報を取り出したいセルを指定します。セル範囲を指定した場合は左端上端セルのふりがながかえります。

使用例

PHONETIC関数使用例

	A	B	C	D	E
1	エクセルの学校			=PHONETIC(A1)	
2					
3					
4					
5					
6					

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことができます。
Internet Explorer 普通に貼り付け / FireFox [形式を選択して貼り付け]-[テキスト]

- 結果："エクセルの学校"の文字列からフリガナ情報が抜き出されてD1には"エクセルノガッコウ"の結果がかえされます。

ふりがなが取り出せない場合

次の場合はふりがなが取り出せず、参照した文字列がそのまま表示されます。

- テキストファイルなどふりがな情報を含まない文字列を貼り付けた場合
- クエリなどでデータベースから取り出した文字列の場合
- 数式で参照した文字列の場合

また、日本語入力時の変換の過程がふりがな情報として保存されるので、必ずしも正確なふりがなが表示されるとは限りません。

- 「中谷（なかや）」を「なか」「たに」と分割して入力変換した場合には「なかたに」がふりがなとして表示されます。
- 郵便番号辞書を利用して住所を入力した場合には、郵便番号がふりがなとして表示されません。

読み

- ファナティック

関連関数

- LEFT 文字列の左側から指定数分の文字列を取り出します
- MID 文字列の指定位置から指定数分の文字列を取り出します

「<http://localhost/mwiki/index.php/PHONETIC>」より作成

カテゴリ: 文字列操作関数 | 関数

- このページの最終更新は 2013年10月21日 (月) 09:40 に行われました。